

cado

取扱説明書

MH-C20

Humidifier

STEM 

Portable

重要

このたびは、カドー加湿機「STEM ポータブル」を
お求めいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書および
別冊の「安全上のご注意」をお読みください。
本書はお読みになったあとも大切に保管してください。

CLUB CADDO ご愛用者登録のご案内

お買い上げ製品をご登録いただくと、製品に関する充実したサポートや
会員限定のお得なセール情報などが届きます。

ぜひこの機会にご登録ください。

cado.com

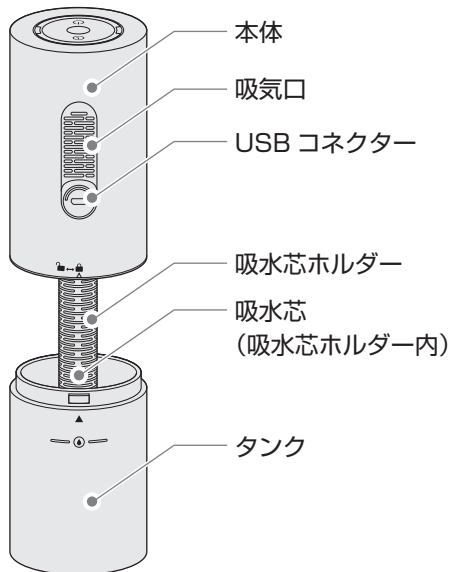
cado

目次

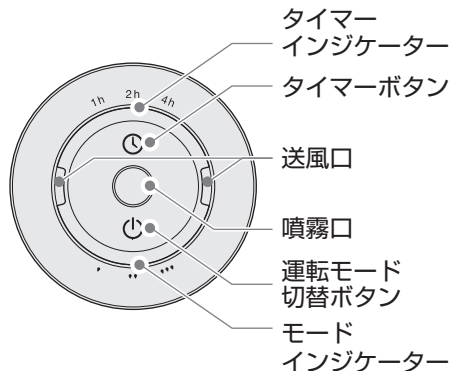
各部の名前.....	3	リセット(再起動).....	10
本体(背面).....	3	設置について.....	10
本体(上部).....	3	持ち運びについて.....	10
USB ケーブル.....	3	お手入れのしかた.....	11
タンクに水道水や指定液剤を入れる.....	4	タンクの清掃をする.....	12
USB 電源を接続する.....	6	噴霧口の清掃をする.....	12
使いかた.....	7	吸水芯ホルダーを清掃する.....	12
運転を開始する.....	7	吸気口の清掃をする.....	13
タイマー運転.....	7	本体の清掃をする.....	13
ファン送風切替.....	8	長時間ご使用にならないとき.....	13
タンク部照明切替.....	8	吸水芯の交換.....	14
給水のめやす.....	8	故障かな?.....	15
充電する.....	9	本体を廃棄するときのご注意.....	18
バッテリー残量確認.....	9	仕様.....	19

各部の名前

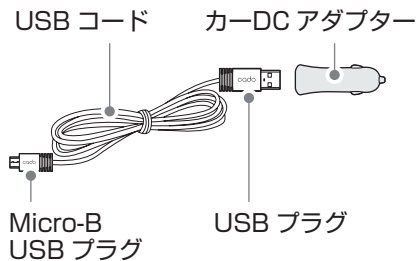
本体(背面)



本体(上部)



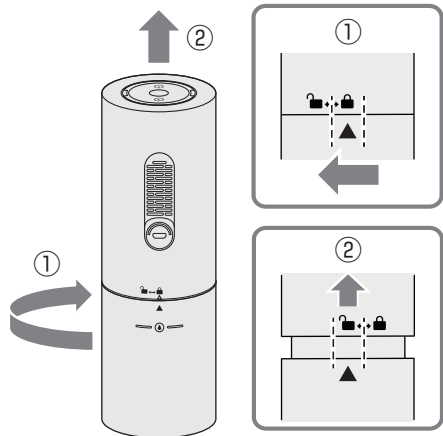
USB ケーブル



タンクに水道水や指定液剤を入れる

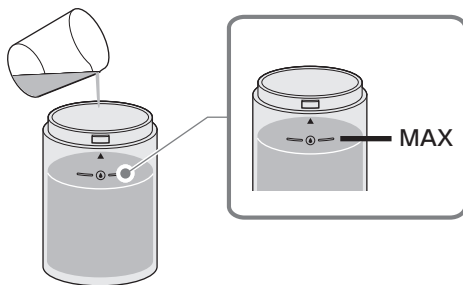
- ❗ 誤作動防止のため、本体から USB ケーブルをはずして水道水や指定液剤を入れてください。
- タンクは定期的にお手入れを行ってください。(週 1 回以上を推奨)
- タンクの水は、毎日新しい水道水に入れ替えてください。

1. 本体を手で押さえながらタンクを回して、タンクを本体から取りはずします。



2. タンクに水道水や指定液剤⇒ p.5 を入れます。

- ❗ 満水(MAX)ライン以上に液剤を入れな
いでください。タンクを本体に取り付け
る際に液剤がこぼれます。

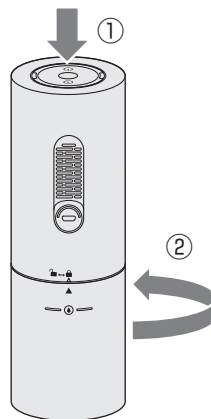


指定液剤は下記となります。

- ピーズガード
お好みに合わせて、ピースガードを水道水で薄めてご使用ください。1倍(原液)から約10倍までの希釈をおすすめします。
- 当社指定のフレグランスウォーター
カドーフォレストウォーターがご使用いただけます。製品の詳細および最新の対応状況については当社ホームページをご確認ください。
お好みの濃度でご使用いただけます。(約10倍での希釈をおすすめします。)

! 市販のアロマオイルなど当社指定以外の液剤はご使用いただけません。タンクや本体のひび割れ(水漏れ)、故障などの原因になります。また、故障発生時にメーカー保証対象外となります。

3. タンクに本体を取り付けます。

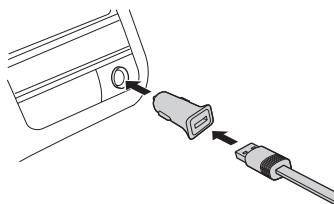
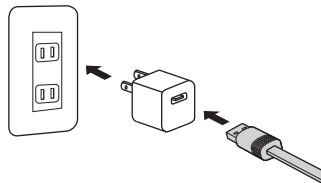
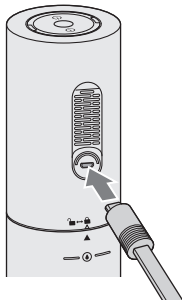


NO! 



USB 電源を接続する

1. USB ケーブルの Micro-B USB プラグを本体の USB コネクタに接続します。
2. USB ケーブルのもう一端を付属のカーDCアダプターまたは市販の USB 電源アダプターに接続します。



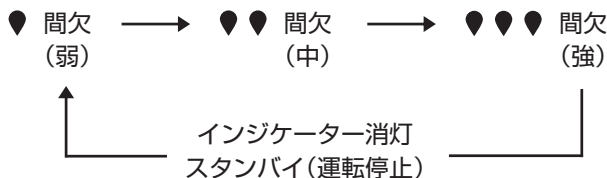
出力電流 2A 以上が供給可能な USB 電源アダプターを別途お求めください。

使いかた

運転を開始する

運転モード切替ボタンを押します。⏻

運転モード(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



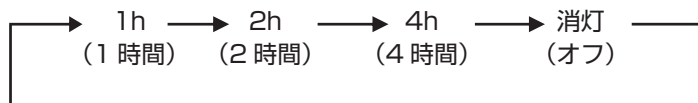
- 初めてご使用になる場合や新しい吸水芯に交換したあとなど、吸水芯が乾燥した状態から運転する場合は、タンクに液剤を満水にした状態から吸水芯に液剤が浸透するまで 10 分程度かかる場合があります。(タンクの液剤が多いほど浸透するまでの時間が短くなります。)このときモードインジケーターが点滅(液剤不足をお知らせ)することがあります。本体保護のため、液剤が十分に浸透してから運転を開始してください。

タイマー運転


運転中にタイマーボタンを押します。⌚


指定した時刻が経過すると自動で電源オフします。

タイマー時間(インジケーター)は下記の順に切り替わります。



ファン送風切替

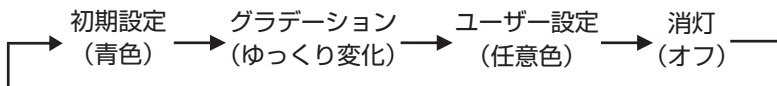
運転音が気になるときなど、噴霧時のファン送風を無効にすることで、運転音が低減できます。運転中にタイマーボタン  を5秒以上長押しすることで、ファン送風の有効／無効が切り替わります。


 設定を切り替えると、運転を停止しても最後に設定した状態を保持しておくことができます。

タンク部照明切替

タンク部照明をお好みの色に合わせて設定できます。

運転中にタイマーボタン  を押したまま、運転モード切替ボタン  を押して、切り替えます。タンク部照明は下記の順に切り替わります。



- 
- グラデーション(色がゆっくり変化)している状態から、お好みの色が点灯している状態で照明切り替え操作をすることで、その点灯色を保持することができます。(ユーザー設定)
 - 設定を切り替えると、運転を停止しても最後に設定した状態を保持しておくことができます。

給水のめやす

運転中にモードインジケーターが点滅したときは、水道水や液剤が不足しています。運転を停止して、USB ケーブルをはずし、「タンクに水道水や指定液剤を入れる」⇒ p.4 の手順にしたがって、水道水や液剤を補充してください。

充電する

「USB 電源を接続する」⇒ p.6 の手順にしたがい USB 電源を供給することで、内蔵バッテリーの充電が始まります。本体を運転しながら充電することも可能です。

スタンバイ中に充電を行う場合、充電量はモードインジケータにより、以下のように表示されます。

充電量			
少ない			
↑			
↓			
充電完了			

：ゆっくり点滅 ●：点灯 ○：消灯

運転中に充電を行う場合、設定した運転モードのモードインジケータがゆっくり点滅します。充電が完了すると、モードインジケータが点灯に切り替わります。

長時間ご使用にならないときは、バッテリー性能を維持するために、半年に一度は充電してください。

バッテリー残量確認

運転中または、USB 電源が接続されていないスタンバイ状態では運転モード切替ボタンを1秒以上長押しすることでバッテリー残量を確認することができます。

バッテリー残量はモードインジケータにより以下のように表示されます。


バッテリー残量			
多い			
↑			
↓			
要充電			

：高速点滅 ●：点灯 ○：消灯

- バッテリー残量が少なくなると、運転中でも3つのモードインジケータが同時に高速点滅し、15秒後にスタンバイモードに入ります。直ちに充電してください。
- スタンバイ中に充電を行っている場合はモードインジケータで充電状態が常に表示されます(バッテリー残量は確認できません)。
- 運転モード切り替えボタンを10秒以上押しと本体がリセットされますのでご注意ください。(「リセット(再起動)」⇒ p.10)

リセット(再起動)

動作に不具合が発生した場合は、本体をリセットすることで問題が解決することがあります。

運転モード切り替えボタン  を 10 秒以上長押しすると本体をリセットすることができます。

リセットを実施する場合、途中でバッテリー残量が表示されることがありますが、そのまま運転モード切替ボタンを押し続けてください。リセットが実行されると、本体の全てのインジケーターとタンク部照明が約 2 秒間点灯します。



- リセットを行っても改善しない場合は、充電することで問題が解決することがあります。
- 「故障かな?」⇒ p.15 の項目もあわせてご確認ください。

設置について

- ご使用環境によっては、周囲が濡れるおそれがあります。水気を嫌うものから離して設置してください。
- 窓や壁からなるべく離れた場所に置いてください。窓や壁に霧がかかると、水滴となって窓や壁、床に付着し、汚れやシミ、カビなどが発生することがあります。
- 吸気口や本体上部をふさがず、室内の空気がよく循環する場所に置いてください。
- 傾斜がある場所や不安定な場所、物が落下するおそれのある場所に置かないでください。
- じゅうたん、電気カーペット、ふとんなどの上に置かないでください。吸気口や本体上部がふさがれ、故障の原因になります。

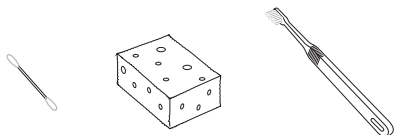
持ち運びについて

- 思わぬ水濡れを防ぐため、運転を停止してから本体を移動してください。
- キャリングケースに収納する際は、本体の運転を停止し、タンクに残った水道水や液剤を捨ててから収納してください。

お手入れのしかた

- お手入れの際には、必ず USB ケーブルをはずし、本体の運転を停止してください。
- お手入れをせずに使用を続けると、水アカなどの汚れが付着して取れにくくなったり、カビや雑菌が繁殖する原因になります。定期的にお手入れを行ってください。(週 1 回以上を推奨)
- 定期的なお手入れが行われない場合、汚れなどによる故障発生時に、メーカー保証対象外になることがあります。

市販の綿棒やスポンジ、やわらかいブラシを用意すると便利です。



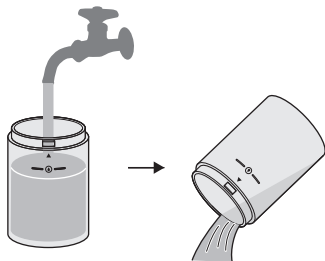
! 硬いブラシを使用すると本体が傷ついたり、故障の原因になります。

しつこい汚れには中性洗剤を溶かした洗浄液を使用してください。

- **!** 中性以外の洗剤は使用しないでください。本体を傷つける可能性があります。
- すすぎが不十分だとニオイや故障の原因になるため、洗浄後は水道水で洗浄液を十分に洗い流してください。

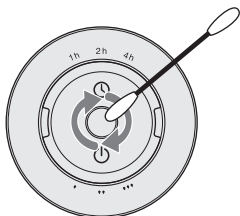
タンクの清掃をする

水道水でタンクの中を何度かすすぎます。タンク内の汚れがひどい場合は、やわらかいブラシやスポンジなどで洗ってください。



噴霧口の清掃をする

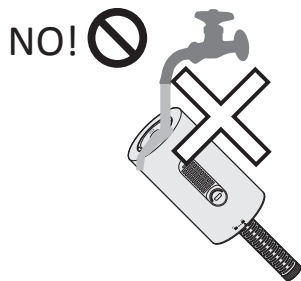
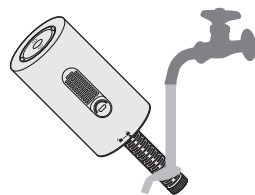
噴霧口に付着した汚れなどを綿棒で取り除きます。



吸水芯ホルダーを清掃する

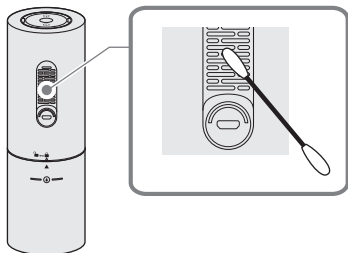
水道水で吸水芯ホルダーを何度かすすぎます。吸水芯ホルダーの汚れがひどい場合は、やわらかいブラシなどで洗ってください。

! 本体上部や吸気口、USB コネクターには水をかけないでください。本体内部の基板やバッテリーなどに水が入ると、ショートによる火災や、感電の原因になります。



吸気口の清掃をする

吸気口のほこりや汚れを乾いた綿棒や、やわらかいブラシで取り除きます。



本体の清掃をする

柔らかい布でふいてください。
落ちにくい汚れは、中性洗剤溶液に浸した布を固くしぼってからふき取り、その後乾いた布でふき取り本体に洗剤が残らないようにしてください。



長時間で使用にならないとき

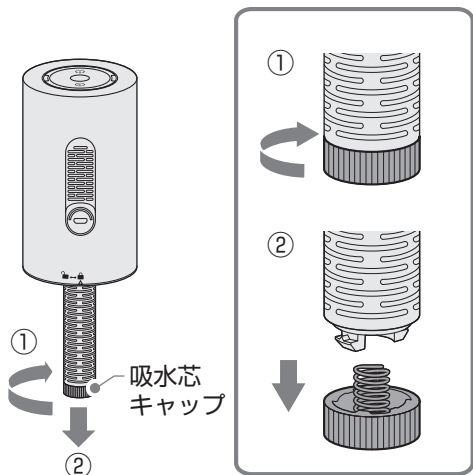
- お手入れをしたあと、本体内部、タンク、吸水芯に水気が残らないよう十分に乾かしてください。
 - ポリ袋などの湿気を通さない袋に入れ、高温多湿、直射日光を避けてゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- !
- 十分に乾燥させないまま収納しないでください。カビの発生や悪臭の原因になります。
 - 吸水芯は乾燥に時間がかかりますので、本体からはずして保管し、ご使用になるときに新しい吸水芯に交換することをおすすめします。(「吸水芯の交換」⇒ p.14)

吸水芯の交換

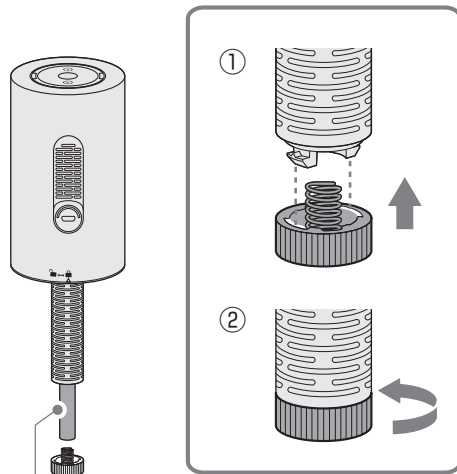
噴霧量が落ちてきた場合は、新しい吸水芯に交換してください。

性能を十分に発揮するため、吸水芯は1ヶ月ごとの交換をおすすめします。

1. 「タンクに水道水や指定液剤を入れる」
⇒ p.4 の手順にしたがい、タンクを本体から取りはずします。
2. 吸水芯ホルダー下部にある吸水芯キャップを回して取りはずします。




3. 古い吸水芯を取り出したあと、新しい吸水芯を挿入して、吸水芯キャップを逆の手順で取り付けてください。






吸水芯

- 吸水芯が取り出しにくい場合は、本体を軽く振ると取り出しやすくなります。
- 吸水芯はやさしく取り扱ってください。折れたり変形すると正しく噴霧できない場合があります。
- 吸水芯キャップ内の中にあるパネは噴霧動作に重要な部品です。万が一はずれた場合は、吸水芯キャップに付け直してください。

故障かな？

症状	確認事項	対処
動作しない	バッテリーの残量がなくなっていますか？	USB 電源を接続し、充電してください。
モードインジケータのすべてが同時に点滅する 	バッテリーの残量がなくなりました。	USB 電源を接続し、充電してください。
充電できない	USB ケーブルは正しく接続されていますか？ カーDC アダプターはしっかりアクセサリ電源ソケットに接続されていますか？ 市販の USB 電源アダプターは 2A 以上供給可能ですか？	「USB 電源を接続する」⇒ p.6 の手順にしたがい、USB 電源を正しく接続してください。 USB 電源アダプターに異常がないかご確認ください。

症状	確認事項	対処
噴霧しない。 モードインジケータ のいずれかが点滅 する	吸水芯は正しく取り付けら れていますか？ 吸水芯は折れたり、変形してい ませんか？ タンクの水道水や液剤がなく なっていませんか？	「吸水芯の交換」⇒ p.14 の手 順にしたがい、正しく吸水芯を 取り付けてください。 新しい吸水芯に交換したとき は、タンクに液剤を満水にした 状態から運転開始までに 10 分程度かかる場合があります。 「タンクに水道水や指定液剤を 入れる」⇒ p.4 の手順にした がって、水道水や液剤を補充し てください。
送風口からの風が弱く なった、または出なく なった	吸気口がほこりなどで汚れて いませんか？ 送風ファンが止まっていませ んか？	吸気口のほこりや汚れを取り 除いてください。 「ファン送風切替」⇒ p.8 にし たがい、ファン送風を有効にし てください。
本体のニオイが気にな る	定期的なお手入れをしなかつ たり、本体(内部)を十分に乾燥 させないまま本体を長時間放 置しませんでしたか？	「お手入れのしかた」⇒ p.11 にしたがい、本体をお手入れし てください。お手入れしても改 善しない場合は、吸水芯を新し いものに交換してください。

症状	確認事項	対処
<p>モードインジケータ が同時に下記のように 点滅する</p> 	<p>USB 電源は正しく接続されて いますか？</p>	<p>USB 電源の電圧が低下して います。 USB 電源が故障していない か確認してください。</p>
<p>モードインジケータ が同時に下記のように 点滅する</p> 	<p>周囲の温度が異常ではありま せんか？</p>	<p>周囲温度を確認し、しばらく たってからご使用ください。</p>
<p>タイマーインジケー ターが同時にすべて点 滅する</p> 	<p>バッテリーに異常が発生して います。</p>	<p>お買い上げの販売店、またはサ ポートセンターまでご相談くだ さい。</p>
<p>全てのインジケー ターが同時に点滅する</p>	<p>本体に異常が発生しています。</p>	<p>お買い上げの販売店、またはサ ポートセンターまでご相談くだ さい。</p>

本体を廃棄するときのご注意

本体に内蔵されている充電式バッテリーはリサイクルできます。
本体を廃棄する場合は、充電式バッテリーの取りはずしは行わずに、
サポートセンターまでご相談ください。



仕様

STEM_{Portable}

型名	MH-C20		
電源	DC 5V		
運転モード	間欠弱	間欠中	間欠強
噴霧量 ^{※1} [mL/h]	5	15	30
外形寸法 [mm]	直径約 66 × 高さ約 210		
消費電流 ^{※2}	2[A] 以下		
質量 [g]	約 500 (本体のみ)		
タンク容量 [mL]	約 150		
USB ケーブル [m]	約 0.5		
付属品	取扱説明書、安全上のご注意、保証書、カーDC アダプター、USB ケーブル、キャリングケース、ピースガード (120mL)、交換用吸水芯 (2 本)		
消耗品	交換用吸水芯 RS-C20		

※1 水温 20℃、タンク満水の場合。室内の温度や湿度によって噴霧量は変わります。

※2 動作中における最大値となります。

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
本製品は国内専用です。電源や法規制の異なる海外では使用できません。

製品に関する最新情報
使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は
カドーサポートサイト

<https://cado.com/jp/support/>



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

0120-707-212

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00
土・日・祝、弊社休業日を除く

株式会社カドー

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11

cado

取扱説明書

安全上のご注意

MH-C20

Humidifier

STEM 

Portable

安全上のご注意

本書について

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項について記載してあります。ご使用前に、この「安全上のご注意」と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を未然に防止するため、本書に記載されている内容は必ずお守りください。誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を区分した上で記載しています。

表示の説明



警告

「死亡または重傷を負うおそれがあること」を示します。



注意

「傷害を負う、または財産に損害を与えるおそれがあること」を示します。

図記号の説明



禁止

「してはいけない禁止事項」を示します。



指示

「必ずしなければならない強制事項」を示します。

警告

禁止

■ 自動車メーカーが禁止する場所(エアバッグの周囲等)に設置しない。

エアバッグが動作しなかったり、エアバッグが動作した際に本製品が飛ばされ、死亡事故の原因になります。また、安全運転を支援する車載製品の動作を妨げ、交通事故の原因になります。

ご不明な場合は、自動車メーカーや自動車販売店に注意事項を確認してから設置してください。

■ めれた手でカーDC アダプターを抜き差ししない。

感電の原因になります。

■ USB ケーブルを破損させない。

ショートや断線して感電や火災の原因になります。加熱したり、傷つけたりしない。無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せたりしない。

■ 本体の定格電圧以外で使わない。

火災や感電の原因になります。

■ 下記の場所では充電・使用・保管・放置しない。

変色や変形、故障の原因になります。

- 火の近くや発熱器具の近くなど温度が非常に高い場所
- 直射日光の当たる場所
- 炎天下で窓を閉め切った車内

■ 分解、改造、修理しない。

火災や感電、ケガの原因になります。修理はお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

■ 本体を水につけたり、丸洗いしない。

本体内部の基板やバッテリーなどに水が入ると、ショートによる火災や、感電の原因になります。

■ 吹出口、本体のすき間に針金などの金属を入れない。

ケガ・感電・ショート・発火の原因になります。

警告

禁止

- お手入れに塩素系、アルカリ性の洗剤を使わない。

洗剤から有毒ガスが発生し、健康を損なう原因になります。

- 自動車を運転しながら操作しない。

運転ミスや交通事故の原因になります。

- 視界の妨げや運転の支障になる場所、同乗者にとって危険となる場所に設置しない。

交通事故やケガの原因になります。

警告

指示

■ 必ず付属の USB ケーブルを使用する。

付属以外の USB ケーブルを使用すると、加熱などにより火災の原因になる場合があります。

■ カーDC アダプターは、DC12/24V マイナスアース車両で使用する。

一般的な車両以外で使用すると火災や故障の原因になります。

■ カーDC アダプターは、根元までしっかり差し込む。

差し込みが不完全だと、感電や火災の原因になります。

■ 使用しないとき、お手入れ、点検、移動の際は必ず運転を停止し、USB ケーブルをはずす。

不意に動作した場合、感電やケガの原因になります。

■ 車内に設置する場合は、本体、USB ケーブルが運転の支障にならないように設置する。

ステアリング、ブレーキペダル、シフトレバーなどに巻き付くと、交通事故の原因になります。

■ 車内に設置する場合は、設置後に車の電装品の動作確認をする。

本体を設置したらブレーキランプやホーンなど電装品が通常通り動作するか確認してください。万が一、車の電気系統に異常が生じた場合、火災や感電、交通事故の原因になります。

■ 異臭や、機器の異常を感じたときは、使用をただちに中止する。

USB ケーブルをはずし本体の運転を停止したあと、サポートセンターまでご相談ください。

■ お年寄り、お子様、体の不自由な方、意思疎通が困難な方には、保護者や安全責任者から適切な指導監督を受けない限り、単独で使用させない。

■ お子様が玩具として遊ばないように注意する。

思わぬケガや誤飲、本体故障または感電の原因になります。

注意

禁止

■ タンクに水道水とカドー指定液剤以外の液剤は入れない。

飲料用の水道水は抗菌処理がされているため、カビや雑菌が繁殖しにくく、使用に適しています。

水道水以外の液剤については、取扱説明書に記載されている液剤のみご使用いただけます。

体調不良や本体、タンクのひび割れ(水漏れ)、故障、ニオイの原因になりますので下記のような水や液剤は入れないでください。

• 入れてはいけない水、液剤：

浄水器により浄化した水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水、汚れた水、40℃以上の温水、化学薬品、洗剤、市販のアロマオイル、市販の芳香剤

■ 本体を傾けたり、横向きに置いたまま使用しない。

液剤が漏れ、故障の原因や周辺の物品に損害が出るおそれがあります。

■ 不安定な場所や、本体が飛び出したり、落下するおそれのある場所には置かない。

落下転倒によるケガ、感電、故障の原因になります。

■ 本体の周囲に物を置かない。

発生した霧によって周囲が濡れて損害が出るおそれがあります。

■ タンクを本体にしっかりと取り付けないまま使用しない。

水が漏れ出し、周囲が濡れて損害が出るおそれがあります。

■ 凍結に注意する。

凍結のおそれがあるときは、本体の水を捨ててください。

■ 航空機や医療機器の近くで使わない。

本体の電波が電子機器に影響を与えるおそれがあります。

■ 車の電子キーに近い場所には置かない。

本体の電波が干渉し、電子キーが誤動作することがあります。本体を電子キーから30cm以上離してください。

注意

禁止

■ 車載製品のアンテナに近い場所には置かない。

アンテナとは離して設置してください。近くに設置すると、テレビやラジオにノイズが入ることがあります。

■ テレビやラジオの近くでは使わない。

映像の乱れや雑音の原因になります。(テレビやラジオからは、1m以上離して設置してください。

■ 下記の場所では使用しない。

- 物が落下するおそれのある場所。
物が置いてある棚などの下では使わない。
思わぬ事故や故障の原因になります。
- 電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気が多い場所。
正常に動作しないことがあります。

注意

指示

- エンジンを切ってもアクセサリ電源ソケットの電源が切れない車両で使用する場合は、本体を使用しない時にはカーDCアダプタをアクセサリ電源ソケットから抜く。

車両側のバッテリー上がりの原因になります。

- 本体のお手入れは定期的に行う。
(週 1 回以上推奨)

お手入れを行わずに使用し続けると、カビや雑菌が繁殖したり、汚れや水アカが付着することで加湿量の低下や、ニオイ、故障の原因になることがあります。

また、まれにアレルギー体質などの方が過敏に反応し、健康を害するおそれがあるので、取扱説明書の手順に従い、必ずお手入れをしてください。

定期的なお手入れが行われない場合、汚れなどによる故障発生時に、メーカー保証対象外になることがあります。

- キャリングケースに本体を収納するときは必ず水を捨て、本体の運転を停止する。

タンクに水を残したまま本体をキャリングケースに収納すると思わぬ水漏れの発生や、本体や USB ケーブルに水が入り、ショートによる火災、感電の原因になります。

バッテリーへの安全上のご注意

液漏れ、破裂、発熱、発火による大ケガ(やけどや失明など)を避けるため下記の注意事項を必ずお守りください。



■ バッテリーの液が漏れたときは、素手でさわらない。

- バッテリーの液が漏れたときは、サポートセンターにご相談ください。バッテリーの液が本体内部に残ることがあり、素手でさわるのは危険です。
- バッテリーの液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水でよく洗浄し、医師の診察を受けてください。

- バッテリーの液が衣服についた場合も、すぐにきれいな水で洗浄してください。やけどなどの原因になるおそれがあります。炎症やケガの症状がある場合は、医師の診察を受けてください。



■ バッテリーは正しく取り扱う。

- 充電するときは付属の USB ケーブルを使用する。
- 加熱したり火の中に入れたりしない。

- 火や発熱器具の近く、直射日光が当たる場所、炎天下の車内など温度が非常に高い場所で充電、使用、保管、放置しない。
- バッテリーを分解しない。外装のチューブを傷つけたり、はがしたりしない。

製品に関する最新情報
使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は
カドーサポートサイト

<https://cado.com/jp/support/>



お電話での対応をご希望のお客様は

カドーサポートセンター

0120-707-212

通話料無料 受付時間 9:00 ~ 17:00
土・日・祝、弊社休業日を除く

株式会社カドー

〒108-0071 東京都港区白金台4-2-11

